

## トビウオ通信 (R6 第5号)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

### 《日本海におけるスルメイカの調査結果と漁況について》

2024年5月24日に国立研究開発法人 水産研究・教育機構（水産資源研究所）から「4月までの日本海におけるスルメイカの調査結果と漁況」として情報提供がありました。今回はその概要と島根県沖でのスルメイカ漁況を紹介します。

※今回紹介する内容は今後の漁況について予報するものではなく、調査結果と漁況の説明のみになります。

#### ポイント

- (1) 2024年4月に実施したスルメイカ漁期前分布調査では、スルメイカの分布密度を示すCPUE（いか釣り機1台1時間あたりの漁獲尾数）の平均値は0.05尾で、前年（0.63尾）および過去5年（2019年～2023年）平均（2.28尾）を下回った。
- (2) 2023年10月～11月に実施したスルメイカ稚仔調査では、幼生の平均採集尾数は2022年並みであり、過去5年（2018年～2022年）平均を下回った。
- (3) 2024年1月～3月の小型いか釣り漁業等によるスルメイカ（生鮮）の漁獲量は、日本海沿岸域全体で、前年および過去5年（2019年～2023年）平均を下回った。

## (1) スルメイカ漁期前分布調査の結果

2024年4月に水産研究・教育機構（水産資源研究所）等が、鳥取県沖から新潟県沖の日本海中部海域 20 定点で実施したスルメイカ漁期前分布調査では、スルメイカの CPUE（釣り機 1 台当たりの漁獲尾数）は最大でも 0.64 尾であり、CPUE が 1 尾を超える地点はありませんでした。全調査地点における CPUE の平均値は 0.05 尾で前年（0.63 尾）および 2019 年～2023 年平均（2.28 尾）を下回り、2019 年に調査が開始されて以降、最低の値でした（図 1）。これらのことから、「4 月の日本海中部海域におけるスルメイカの分布密度は極めて低かった」と報告されています。

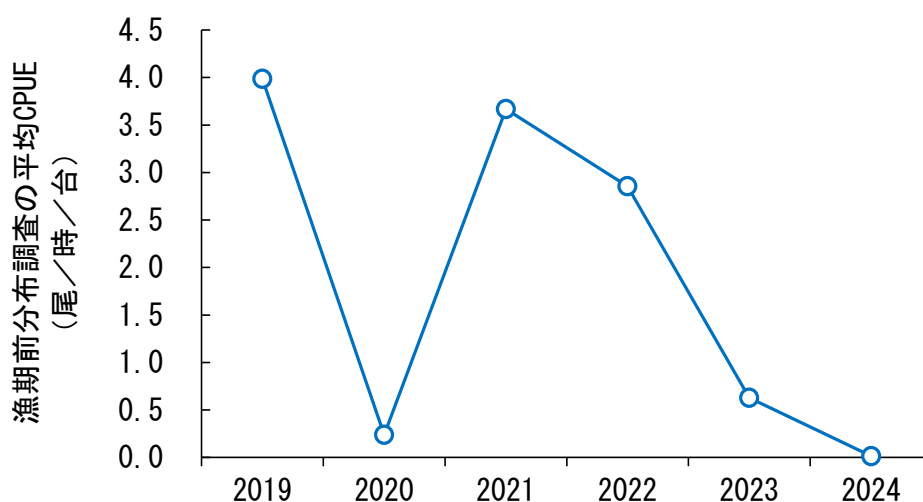


図 1 スルメイカ漁期前分布調査における全調査点の平均 CPUE（いか釣り機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数）の年推移。

## (2) 2023 年秋のスルメイカ幼生の分布状況

2023 年 10 月～11 月に東シナ海から山陰沖にかけての 84 定点で実施されたスルメイカ稚仔調査では、スルメイカ幼生（主に外套背長<sup>がいはいちょう</sup> 1 mm～3 mm）の採集数は 6 尾のみで、隠岐島周辺と山口県沖合および五島列島周辺海域でのみ採集されました。スルメイカ幼生の 1 調査地点における平均採集数（0.07 尾）は 2022 年（0.07 尾）と同様に低い水準で、2018 年～2022 年平均（0.29 尾）を下回りました。以上のことから、本年の漁獲対象となる群れの親魚量は 2022 年と同様に少なかったことが示唆されました。

### (3) 日本海沿岸域におけるスルメイカ漁況の経過

小型いか釣り漁業を主体とした日本海沿岸全域における生鮮スルメイカの漁獲量は、2023年5月～7月の漁期前半では、2018年～2022年平均を下回りました（平均比20%）。漁期後半（8月～12月）では、石川県以北で2018年～2022年平均を下回りましたが、福井県以西で大きく上回りました（平均比196%）。2024年1月～3月の漁獲量は日本海沿岸全域で、前年および2019年～2023年平均を下回りました（前年比52%、2019～2023年平均比40%）。特に福井県以西の漁獲量は、前年および2019～2023年平均比10%となり、大きく下回りました。

### 島根県沖でのスルメイカ漁況

主要3港（浜田、西郷、恵曇）<sup>※1</sup>における小型いか釣り漁業（5トン以上30トン未満）によるスルメイカの月別の水揚動向を図2に示しました。2024年の1月～4月までの水揚量は10トンで、前年同時期の水揚量（60トン）および近年<sup>※2</sup>同時期の水揚量（63トン）を下回る漁況で経過しています（前年比17%、近年平均比17%）。

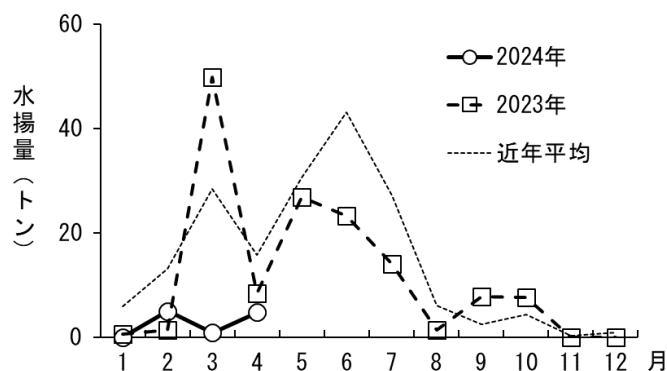


図2 主要3港におけるスルメイカの水揚動向

これは、2019年以降の海水温などの海洋環境の変化により、スルメイカの産卵に適した海域が縮小する傾向が見受けられ、新規の加入量が少なくなったことが主な要因であると考えられます。そのため、スルメイカ全体の資源量が減少し、島根県沖への来遊量も減少した可能性があります。ただし、スルメイカは1年魚であるため、スルメイカに適した環境条件が揃えば資源量が回復する可能性もあり、今後の動向を注視していく必要があります。

※1 浜田は属地データ、西郷および恵曇は属人データを集計。

※2 「近年」とは直近5年間（2019年～2023年）を示す。